

活躍する卒業生たち



私は今、和歌山県北部の海南市にある、海南市立下津幼稚園に勤務し、年中クラス（4歳児）の担任をしています。

下津幼稚園は年長・年中・年少各1クラスずつの小規模園で、縦のつながりが強く、自然な形で異年齢交流がある。

「やりがいを感じる時」

中川 侑香

子ども発達学科 平成26年卒（5期生）

幼稚園・小学校・中学校で連携を大切にして、小学生・中学生とのふれあいの機会も多く作っています。年長児は来年小学生になることに期待を持ちながら、小学校の校舎に出かけて、実際に校舎の中を見せてもらったり、

教室に入らせてもらったりします。幼稚園に帰って来て、「机が大きかった」とか、「2階や3階があった」とか、目をきらきらさせて報告してくれます。大人には当たり前のことが子どもたちには新鮮に感じられるようです。隣接す

したダンスや歌・合奏を披露し、喜んでくれました。働き出してまだ1〜2年の経験の浅い時期は、大学時代に学んだことが本当に役立ち助かりました。私は今も、授業や実習で学んだこと、先生方から教わったことを日頃の保育に取り入れながら働いています。毎日日本が大変で、根気がいる仕事ですが、子どもたちが今までできなかったことが少しずつできるようになり、子どもたちの「できた」という瞬間に立ち会えたりしたときは、やっていてよかったと、心から思います。子どもの笑顔を見ているのが本当にうれしくて、「先生！」と寄ってきて頼ってくれるとき、とてもやりがいを感じます。



昨年度から、臨床栄養学実習や運動生理学実習などの授業を担当する臨床栄養研究室の新任助手として勤務することになりました。相愛大学を卒業してから6年が経ち、保健センターでの非常勤栄養士

「食を通じて相愛の魅力を伝えていきたい」

寺川 舞

発達栄養学科 平成22年卒（1期生）

や給食会社などで勤めました。が、助手として学生たちから「先生」と呼ばれる立場になるとは思っていなかった。自分でもとても驚いています。助

ことを学び、自分なりに一生懸命頑張りたいと思います。私が相愛大学で学んでいた頃よりも今は食育ボランティアやお弁当開発などの地域連

携事業がとて増えています。大学の授業だけでなく、実際に現場に出て自分で経験することによって管理栄養士・栄養士と

してのスキルが身に着きます。学生時代にこうだった経験ができるのはとてもいいことだと思えます。将来的にも役立つと思います。しかし年々求められる知識や技術のレベルも上がりますので私も自分が経験してきた知識や技術を学生に伝えていけるように努力し、新しいことも勉強していきたいと思っています。今後はオーブンキャンプや地域連携等の食育イベントに参加し、先生方や学生と一緒に相愛大学の魅力を伝えて盛り上げていきたいと考えています。そして卒業する学生が相愛大学に来て良かった、管理栄養士になれて良かったと思ってもらえるように頑張ります。

京の文化と伝統を優雅に堪能

京都支部



京都支部は平成27年4月15日史跡旧仮皇居の聖護院御殿に於いて関東・東海支部からご参加頂き総会を開催致しました。各報告後、懇親会では数々の料理に会話が弾み、賑やかな話の輪が広がりました。味や量が満足との言葉に笑い声があちこちから上がり、会を締めくくると、席を「西尾八つ橋の里」へ移動して、立派な和室と手入れの行き届いたお庭を拝見しながら最後のお茶をいただいた閉会となりました。

「紅葉会」は11月26日京都木屋町の「鮎鶴」にて、お料理

と2012年に有形文化財に登録された建物を拝見する会を開催致しました。入って直ぐに、レトロな映画に出てくるような創業当時から変わらないエレベーターに感動しました。今回はお料理の器と盛り付け方に花が咲き、器にも味があるのだと改めて感じました。鮎鶴さんは夏には鴨川に床が張られる優雅なお店、次回は床で食事をしたと話しながら、来年の総会も元気でおいでますことをお約束して、会を終えました。

京都支部長 竹原 和

東海支部

四季折々の料理を歌と共に楽しむ

生駒山 みどりすがしく、美しや我が学舎……学園歌と真宗宗歌、恩徳讃を皆さんと合唱するのが、東海支部では恒例となっております。つついっ普通段でも口ずさんでいる懐かしい学園歌です。東海支部では昨秋には、今年サミット会場として話題になっている伊勢賢島まで、皆さんと足をのびしました。

賢島宝生苑では季節の会席を

6月11日（土）28年度総会

を、料亭志ら玉にて予定しております。

東海地区にお住まいの卒業生の皆様是非参加して下さい。御連絡お待ち申し上げます。

東海支部長 森 正子

関東支部

美しきハーモニーで心豊かに

晴天に恵まれた6月5日、色濃く歴史を感じさせる佇まいの明治記念館で第54回関東支部同窓会を開催しました。

思い出話に花が咲き、美味しいお料理を堪能しました。食事の後、音楽学部卒フルーティストの堀江伶子さんがヴァイオリンソロのご主人様と息のあった演奏を聴かせて下さいました。その美しい音色は、緑深い庭園をバックにしはしの間、皆様の心を温か

く豊かにしてくれました。会の終わりににはコーラスグループ「さくら」の皆さんと共に全員で「花ふるさと」を大合唱し、女学生気分に戻ったまま、次回の再会を約束して閉会しました。

関東支部長 河野多伎子



卒業生よりの寄付

平成27年11月に短大被服専攻（45年卒）の熊谷京子様より、教員・同窓会会員への支援として、一千万円のご寄付をいただきました。

卒業後も社会の変貌に即する学びの場への参加料等にお使い下さいという熊谷様のお心に沿うように、緊急の幹事会を開き、一千万円の内、教員への支援としては、各学科百万円をご利用いただくことにしました。発達栄養学科は百万円で骨密度計を購入し、子ども発達学科は一部を利用して小学校教諭用指導書を購入致しました。

卒業生への支援としては、管理栄養士国家試験対策講習会、小学校教諭や栄養教諭の採用試験への支援等を計画しています。さらに短期大学の卒業生への支援等、熊谷様のご厚意が形となって残るように検討しております。

母校発展のため、これからも一層同窓会として頑張っていきます。

